

「らんらんプロジェクト' 21」 実施報告書

プロジェクトの名称 工大カフェファンクラブ
「学生と地域をつなぐカフェガーデン（外部空間構想）プロジェクト」
代表者 建築社会基盤系学科 学部4年 葛西 芳枝
環境創生工学系専攻 修士2年 猪股 航平

実施時期 9月中旬～2月下旬
実施概要 9月中旬 建築専攻大学院生によるデザイン構想案作成 カフェガーデンの構想パネル展示 2月下旬 除雪 単管パイプカット 単管パイプ組み立て
進捗状況・実施結果 実施できた内容の1つとして、工大カフェ「TENTO」を運営している、NPO法人 ten to tenの方々を対象に建築専攻大学院生によるデザイン構想案のプレゼン、意見交換を行いました。また、地域の方々に構想案を見ていただくためパネル展示を実施しました。大学院生によるプレゼン、意見交換では、環境創生工学系専攻 修士2年 猪股航平が主に庭構想の設計を行い、発表しました。意見交換では、NPO法人 ten to tenの方々から、子育て目線の意見や設計に対する安全面や管理面等に関する質問をいただきました。 もう1つの実施できた内容として、ベンチの骨格作りです。企画書段階での予定では、雪が降る前に製作する予定でしたがコロナウイルスの影響や積雪により作業の進行が難しい状況でした。しかし、猪股の提案により積雪を活かした庭づくりにデザイン案を変更し、除雪作業から始めることになりました。工大カフェファンクラブや建築学生を中心に呼びかけ、計7名の学生で行いました。除雪に続き、ベンチの骨格である単管パイプカットや組み立てを計4名の学生で行いました。
作業完了予定・実施効果 今回のプロジェクトの目的は、カフェ外部空間をさらにイベントが行いやすく、交流ができる「場」にすることでした。プロジェクトを通して、学部や学年の垣根を超えた学生同士の交流と、学生の学びを実践する機会につなげることで、学生同士の交流から新たな実践プロジェクトを生むきっかけづくりとしたいと考えておりました。さらに、学生同士の交流だけでなく、カフェプロジェクトから携わって頂いた縁を活かし、地域住民とワークショップ形式で外部空間を作ることも試みたいと考えていました。 実施効果として、建築選考の学生が設計した点、設計内容を実際にベンチ作りとして形にした点で学びの実践する機会につなげることができたと考えます。また、作業段階で先輩方の知恵を学ぶことができ、学部や学年の垣根を超えた学生同士の交流や学びの共有につなげることができました。地域住民とワークショップ形式で外部空間を作ることに限っては、コロナウイルスの影響が大きくプロジェクト期間内での実施はできませんでしたが、今後の状況次第で座面制作などを地域住民とワークショップ形式で行いたいと考えております。
その他特筆すべき点 コロナウイルス蔓延防止対策により、地域住民とのワークショップ形式のイベントを実施できなかったが、今後の状況次第でイベント実施を考えております。

※記入欄が不足の場合は、適宜の用紙に記載して添付してください。様式はデータ（word）でもお渡しできます。

※令和4年2月末日までに、学務課学生支援係に提出願います。また、同時にHP等掲載原稿をデータで別途提出願います。

「学生と地域をつなぐカフェガーデン（外部空間構想）プロジェクト」

21年度実施報告

環境創生工学系専攻 修士2年 環境建築学コース
猪股 航平

工大カフェ「TENTO」は昨年の9月19日にオープンしました。そこに隣接する空地は、工大キャンパスのメインの通りとも言えるような通りに面してあり、“ひろば”としてのポテンシャルを備えた場所であると感じていました。そこで私たちは、この「らんらんプロジェクト」を通じて、大学に関わる様々な人々がこの空き地を“ひろば”として認識し、留まり憩えるきっかけとなるものをつくろうと考えました。今年度のプロジェクトは、その第一歩としての足掛かりをつくるという位置付けです。最終的には、この庭を学生、地域住民、大学職員などのさまざまな人々が気軽に利用でき、つながりのきっかけとなるような“ひろば”としての役割を担う場所となるよう目指していきたいと思っています。

今年度の実施においては、新型コロナウイルスの流行などの社会的な状況により、実施時期が冬季にずれ込んだことや、初年度の試みであることから道具などの費用が掛かり材料が十分に揃わなかったことなど、当初想定していた計画から、大幅に修正が必要となりました。また2月の大雪で庭に雪が降り積もる状況になり、プロジェクトの実施自体が困難かに思われました。

まずプロジェクトを始めるにあたって、大量の雪が庭に降り積もっている状況を前に、庭の除雪から取り掛かることになりました。とにかく雪を除けることが必要でしたが、そこで、雪自体も庭の資源と捉え、除雪も庭づくりの一部として活用しようと考えました。カフェまでのアプローチとなる道とベンチを置く少しのスペースを雪を除けることで形づくる(図1)。当初は想定していなかった事態でしたが、冬季間における庭の活用において、新たな可能性を見つける事ができたと思っています。雪かきでは、佐藤愛有莉、井上愛、榊原大翔、葛西芳枝、大西将貴、紫田佑、そして猪股が参加し、みんなで“道”をつくりました。

ベンチの制作では、当初の想定通り、切断といった難しい工程を極力少なくしていたことで、スムーズに行う事ができました。冬季の作業となり多少の困難さを伴いましたが、作業日には天気にも恵まれ、無事組み立てを行う事ができました。当初の所見通り、単管パイプの扱いやすさや、組み立てたものの強度など、今後の庭づくりの可能性を感じさせてくれるものであったと感じています。組み立てでは、佐藤愛有莉、葛西芳枝、真田風舞、猪股が参加して行いました。

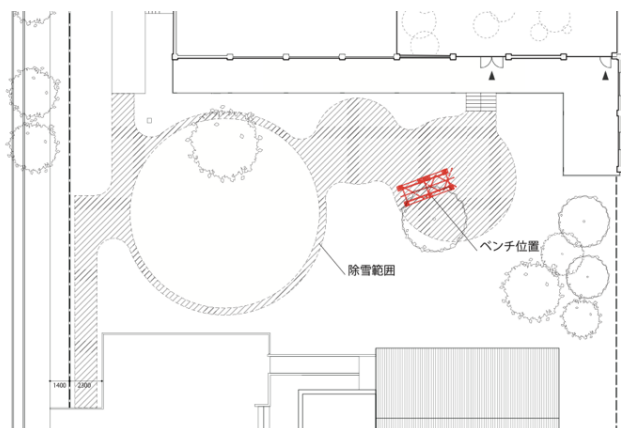


図1 除雪デザイン案



図2 ベンチ骨格完成写真

本プロジェクトでは、葛西さんにお声をお掛けいただき、庭のベンチなどの設計をさせていただきました。これまで私は、平成30年度のらんらんプロジェクト「かさねるひろば」などで、キャンパス内の空間について考えてきました。近年では勉強できるスペースや、カフェなどが整備され、学生にとっても過ごしやすい環境が整備されつつあり、個人的に嬉しく思っています。このカフェの庭も、その流れと同じくキャンパスの環境向上に寄与する“ひろば”となってくれることを願っています。カフェの庭が実際に使われることになるのは来年度の春以降になると思われ、今年度で卒業する私自身は、その様子を見届けることはできませんが、今後も関心をもってバトンを次に渡していってくれる学生が、この庭に集まってくれればと思っています。



図 3 除雪作業の様子



図 4 全作業終了後の庭全体写真



図 6 除雪後の庭全体図



図 7 除雪作業の様子



図 8 単管パイプカット



図 9 単管パイプカット